

# 南高生制作「やさしい日本語」リーフレット



留学生の利用が多い駅に、置いてもらいました

### 3年目「福祉（しあわせ）南風プログラム

～ジェネラル・ケア・ティーチャーによる福祉力発信～

- ・ **教える** ために、研究を深め、**正しく理解** する
- ・ 相手のことを考えながら、分かりやすく **伝える**

少しでも多くの人に**知ってもらいたい**  
もっと深く福祉を**学びたい**



福祉を学ぶことに**誇り**、**自信**や**達成感**

# 成果と今後の課題

## (1) 研究成果とその評価

# 【3年間の生徒の評価】

**評価指標①：SPHの授業等に積極的に取り組むことができ、福祉の勉強をさらに頑張ろうと思った。**

1 思う    2 どちらかと言えば思う    3 どちらかと言えば思わない    4 思わない    (%)

	1	2	3	4	未回答
1年次平均	67.9	30.0	2.1	0.0	0.0
2年次平均	66.2	32.5	1.1	0.1	0.1
3年次平均	<b>85.4</b>	<b>14.2</b>	0.3	0.0	0.1

# 【3年間の生徒の評価】

**評価指標②：SPHの学習等を通して、課題に対して解決方法を自分で考え、行動する力が高まった。**

1 思う    2 どちらかと言えば思う    3 どちらかと言えば思わない    4 思わない    (%)

	1	2	3	4	未回答
1年次平均	48.2	48.2	2.3	0.2	0.1
2年次平均	53.5	43.9	2.3	0.2	0.1
3年次平均	<b>78.2</b>	<b>20.6</b>	1.0	0.0	0.1

# 【3年間の生徒の評価】

**評価指標③：SPHの学習等を通して、新たな知識・技術を習得することができ、自分のスキルアップにつながった。**

1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない

	1	2	3	4	未回答
1年次平均	68.5	30.4	1.1	0.0	0.0
2年次平均	67.7	30.8	1.4	0.1	0.0
<b>3年次平均</b>	<b>83.7</b>	<b>14.7</b>	0.7	0.0	0.9

# 【3年間の生徒の評価】

**評価指標④：SPHの学習等を通して、自分の将来の職業に対する意識が高まった。**

1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない (%)

	1	2	3	4	未回答
1年次平均	33.1	47.6	16.1	3.2	0.0
2年次平均	43.2	45.3	9.1	2.4	0.0
3年次平均	<b>63.3</b>	<b>33.1</b>	2.2	1.2	0.3

# 4つの資質・10の力

先進的な専門性		豊かな創造性			豊かな人間性		確かな主体性		
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
幅広い知識	高度な技術	観察力	発想力	課題解決力	多様性を受容できる力	人間関係調整力	企画力	運営力	伝える力



## ① 生徒の自己評価 先進的な専門性（幅広い知識、高度な技術）

入学した当初は、まさか自分が**介護ロボットを扱い、人に説明できるまで**になるとは思っていませんでした。私は介護ロボット班で研究することにより、**福祉や介護現場の未来を見れた**ような気がします。今後、介護ロボットが現場に普及していくと思います。その時には自信を持って、介護ロボットについての**説明や対応をする力**をつけることができたとと思います。

## ① 生徒の自己評価 先進的な専門性（幅広い知識、高度な技術）

これまでノーリフティングケアを学び、そして3年生になってたくさん「ノーリフティングケア講座」を開いてきました。人に教えるためには、まず自分達が正しい知識や技術を身に付けなければなりません。班の仲間と放課後に何度も練習をし、分かりやすく伝えるための工夫を重ねることで、自信を持って教えることが出来ました。

## ① 生徒の自己評価 豊かな創造性（観察力、発想力、課題解決力）

大学生との協働学習では、アセスメントシートをもとに、一緒に個別援助計画を作成しました。高校生の介護福祉士の視点と、大学生の社会福祉士としての視点では**考え方や捉え方が違い**、高校生だけでは気付けなかったことに**気付く**ことができ、**違う角度**から見ることにより、利用者様のことを考えた**支援内容を作成**することができました。

## ① 生徒の自己評価 豊かな創造性（観察力、発想力、課題解決力）

地域の課題解決学習では、**高校生ならではの**活動を考えることができ、**創造力**や**アイデア****力**が身に付いたのではないかと思います。地域での「ニーズ調査」を行うことで、「**どんな困****り**を感じているのか。」と考え、それを**解決**するため「**私たちに出来ることはないか。**」と考え、行動に移すことができました。

## ① 生徒の自己評価

豊かな人間性（多様性を受容できる力、人間関係調整力）

私は、リーダーシップをとれる性格ではありませんが、サーバントリーダーシップ育成セミナーを受け、実際にグループ学習をしていく中で、皆と協力し、**様々な人の意見を聞き、まとめる**ことができるようになったことが成長したところだと思っています。

## ① 生徒の自己評価

豊かな人間性（多様性を受容できる力、人間関係調整力）

終末期についての学習の中で、生きることと死ぬことについて深く考えました。「死」に対する考え方はとても多様であり、本人に決定する権利があること、意見を否定しないことが大切と分かり、本人の気持ちを尊重できる人間にならなければいけないと感じるようになりました。

## ① 生徒の自己評価 確かな主体性（企画力・運営力・伝える力）

私たちは認知症キャラバンメイトとして、小学校や中学校など多くの方を対象に、「認知症サポーター養成講座」を開催しました。受講者に合わせて講座内容を工夫し、毎回台本を作り直してきました。毎日遅くまで残って、納得がいくまで練習し、講座を作り上げていくことはとても大変なことでしたが、その分、成功させたときの感動はとても大きかったです。

## ① 生徒の自己評価 確かな主体性（企画力・運営力・伝える力）

認知症予防体操を紹介するときに、まず自分達が笑顔になることで、みんなも笑顔で体操ができることに気づきました。一人ひとりに合わせた説明や体操の内容を少し変えることで、誰もが参加できる体操になりました。自分達がたくさん考えて作った体操を、みんな笑顔で楽しく行っている姿はとても嬉しかったです。



## ② 生徒の進路

(%)

			平成30年度	令和元年度	令和2年度
進学	4年制 大学	福祉系	10.4	17.3	19.0
		その他	5.2	5.3	2.5
	短期 大学	福祉系	7.8	5.3	11.4
		その他	0.0	0.0	1.3
	専門 学校	医療・看護系	20.7	16.0	17.7
		その他	6.5	6.7	7.6
	各種学校		2.6	1.3	0.0
就職	介護職	33.8	34.8	35.4	
	その他	5.2	8.0	3.8	
	准看護学生	7.8	5.3	1.3	
	自己就職	0.0	0.0	0.0	

### ③ 教員の研鑽

ジェネラリストとしての視点の明確化

○ポートフォリオの効果的な活用  
～目標や身に付けたい力の明確化～

# SPH ポートフォリオ 授業シート

手立て・手段・学習内容等

〈目標〉

〇〇〇を、〇〇〇〇することを通して、  
〇〇〇〇〇〇することができる。

学習内容

本時に目指す（生徒の）最終的なゴールの姿

〈学習内容から分かったこと〉 【先進的な専門性】

〈コミュニケーションや発表での気づきや発見〉  
【豊かな人間性】

〈本時の学習で自ら見つけた問題と設定した課題〉  
【先進的な専門性】

〈学習の振り返り〉 【確かな主体性】

SPH ポートフォリオ 授業シート ( )年( )組 氏名( )  
令和( )年( )月( )日( )( )限

〈授業名〉		自己評価	教師評価
〈指導者〉	〈提出日・提出先〉 月 日( )( )		
〈目標〉			
〈学習内容〉			
〈学習内容から分かったこと〉【先進的な専門性】			
〈コミュニケーションや発表での気づきや発見〉【豊かな人間性】			
〈本時の学習で見つけた問題と設定した課題〉【豊かな創造性】			
〈学習の振り返り（感想・考察）〉【確かな主体性】			

〈評価について、裏面を参考にし、①～④を右端の欄に書き入れなさい。〉

## ④ 県内福祉系高校との連携体制

### 福祉系高校との地域福祉活性化交流学習

R1 大分県立佐伯豊南高校 福祉科1～3年 84名

R2 大分県立中津南高校耶馬溪校

生活福祉コース3年 5名



## 〈交流会後生徒アンケート結果〉

本時の交流学习に積極的に取り組むことができ、福祉の勉強をさらに頑張ろうと思った。 (％)

	思う	どちらか と言え ば 思う	どちらか と言え ば思わ ない	思わない	未回答
R1 大分南高校福祉科 2年 (7名)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
R1 佐伯豊南高校 1～3年 (84名)	60.9	35.0	3.1	1.0	0.0
R2 大分南高校福祉科 3年 (8名)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
R2 中津南高校耶馬溪校 (5名)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0

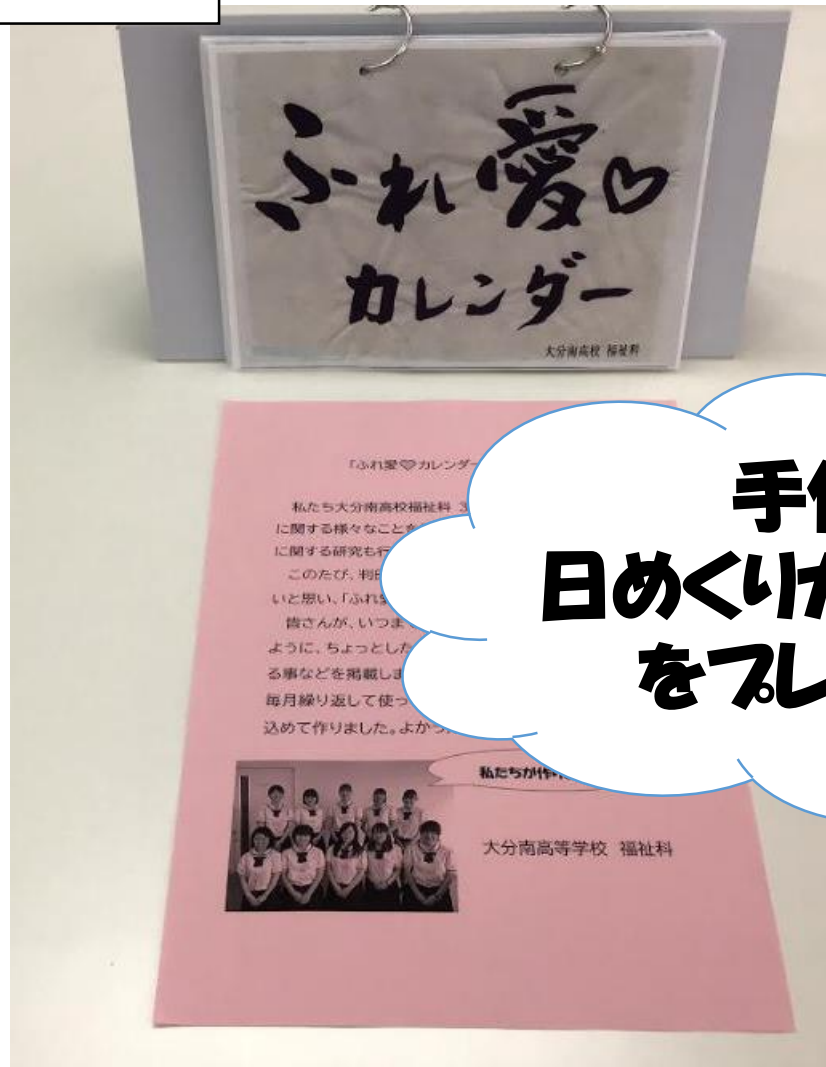
## 〈交流会後生徒アンケート結果〉

自分の将来の職業に対する意識が高まった。 (％)

	思う	どちらか と言え ば 思う	どちらか と言え ば 思わ ない	思わ ない	未回 答
R1 大分南高校福祉科 2年 (7名)	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
R1 佐伯豊南高校 1～3年 (84名)	53.9	33.3	9.8	2.0	1.0
R2 大分南高校福祉科 3年 (8名)	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0
R2 中津南高校耶馬溪校 (5名)	80.0	20.0	0.0	0.0	0.0



## ⑤ 地域との連携の深化



地域の**高齢者の困りごと**を理解し、今後の活動につなげる

## ⑤ 地域との連携の深化



南高生地域ふれ合い活動～大分南オリジナル認知症予防体操の紹介～



# 〈地域ふれあい活動参加者アンケート結果〉 15名

1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない (%)

	1	2	3	4	未回答
今回の講座は <b>楽しく参加</b> できた	86.6	6.7	0.0	0.0	6.7
今回の講座は今後の生活の <b>役に立ちそう</b> だ	73.3	20.0	0.0	0.0	6.7
今回の講座について <b>満足</b> している	60.0	26.7	0.0	0.0	13.3

## ⑤ 地域との連携の深化

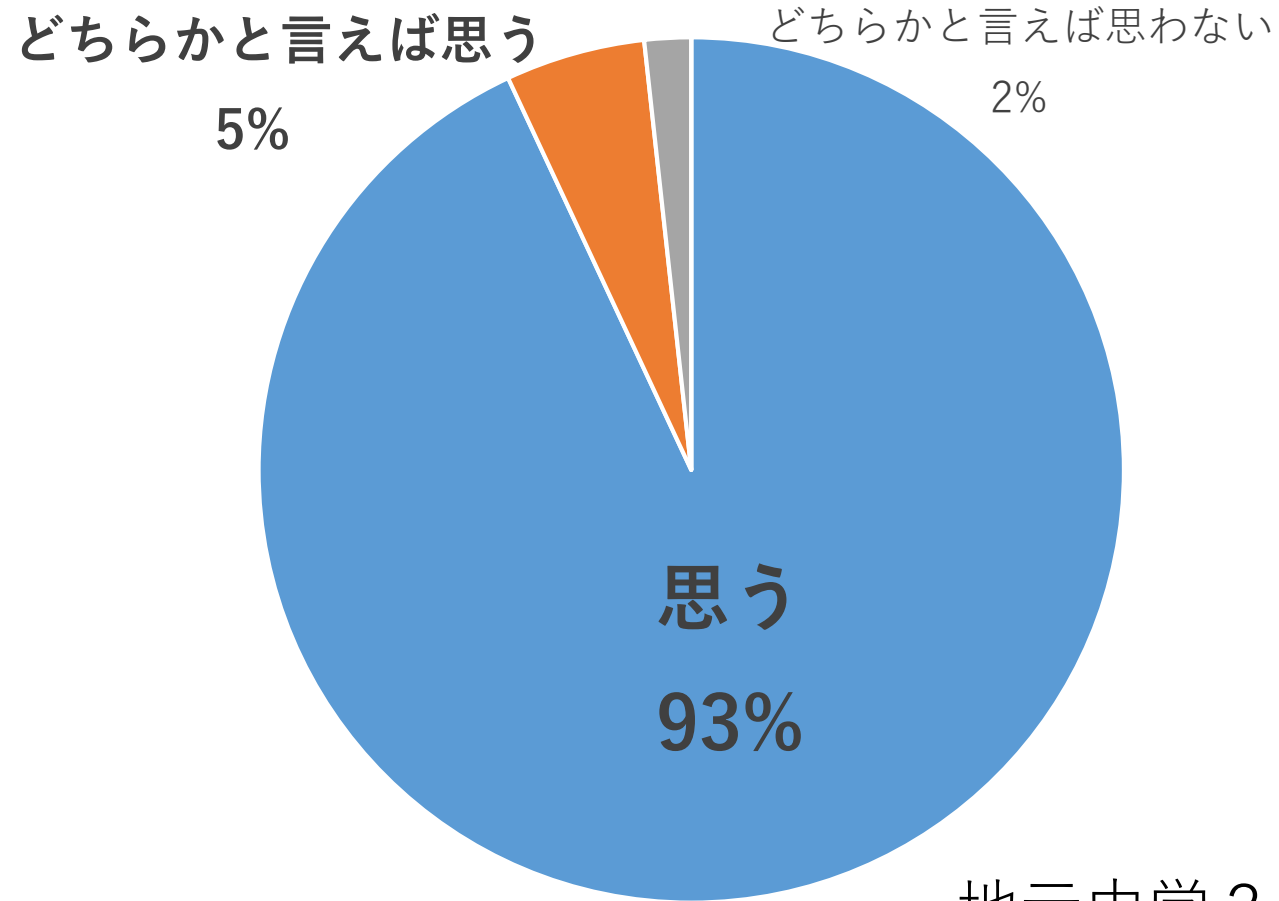
地元小中学校との連携



福祉の  
イメージアップ



# 今回の福祉講座の内容について満足している



地元中学2年生 115名

## 地元中学生 福祉講座の感想

僕は「福祉」とは、相手とコミュニケーションを  
とって相手を笑顔にすることだと思いました。講座で  
は、一緒に体操するだけで笑顔になれました。そして、  
僕がすごくいいなと思ったのは、人見知りの僕に講座  
が始まる前に優しく話しかけてくれたことです。そし  
て、お年寄りには目線を合わせてお話していました。  
そこから優しさがあふれていて、「福祉科の人ってす  
ごいなあ」と思いました。これから高校のことを詳し  
く調べていきたいです。

## ⑥ 研究成果の普及

# 「スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール（SPH）事業」 福祉教育フェスティバル ～『九州から届け！！「福祉（しあわせ）」南風プログラムの発信』～

期 日 令和2年12月18日（金） 10：00～16：30

場 所 大分県立大分南高等学校

参加者 文部科学省視学官、SPH運営指導委員、SPH研究推進委員、  
介護実習施設職員、保護者、判田地区住民、全国福祉系高校教職員等  
（約80名）

大分南高校生徒（約560名）、判田中学校2年生（約120名）

リモートによる参加

介護実習施設職員、学校関係（約20名）

県内外福祉系高校生徒（約150名）

**SPH事業 福祉教育フェスティバル**  
 ～『九州から届け！！「福祉（しあわせ）」南風プログラムの発信』～日程

時 間	内 容	場 所
10:30～ 11:20	<b>公開授業</b> 「3年福祉科の生徒から判田中学2年生への福祉講座」 ①ノーリフティングケア講座 ②介護ロボット講座 ③災害支援について学ぶ ④ミニデイサービス ⑤やさしい日本語講座	福祉棟、 3-4, 5
12:50～ 14:50	<b>SPH福祉教育フェスティバル（成果発表会）</b> 開会式 生徒発表 ①SPHの成果報告 ②認知症予防体操の紹介 ③「おおいたの福祉力」の提言 指導講評	体育館 （普通科生徒は 各教室からリ モートでの参 加）
15:10～ 16:30	<b>本校福祉科教員と参加者との情報交換会</b> （対象 外部参加者）	地域交流実習室



# 地元中学生へノーリフティングケア講座





# リモートと融合した福祉教育フェスティバル





# 大分南高校オリジナル認知症予防体操の紹介



## 成果発表会は勉強になりましたか

1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない (%)

	1	2	3	4	未回答
普通科 1～3年 (296名)	65.2	31.1	1.0	0.7	2.0
福祉科 1年 (70名)	88.6	11.4	0.0	0.0	0.0
福祉科 2年 (77名)	89.6	7.8	1.3	0.0	1.3
福祉科 3年 (78名)	91.0	9.0	0.0	0.0	0.0

# 今回の福祉教育フェスティバルの内容について満足している

1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない (%)

	1	2	3	4	未回答
普通科 1～3年 (296名)	59.1	35.1	5.1	0.0	0.7
福祉科 1年 (70名)	54.5	45.5	0.0	0.0	0.0
福祉科 2年 (77名)	90.0	10.0	0.0	0.0	0.0
福祉科 3年 (78名)	94.9	5.1	0.0	0.0	0.0
昨年度福祉科2年 (現3年)	77.6	21.1	0.0	1.3	0.0

# SPH福祉教育フェスティバル

## 県内外福祉系高校のリモートによる参加

大分県立佐伯豊南高等学校	福祉科1, 2年	49名
宮崎県立門川高等学校	福祉科2, 3年	48名
岐阜県立大垣桜高等学校	福祉科3年	36名
栃木県立真岡北陵高等学校	介護福祉科2年	19名
	<u>合計</u>	<u>152名</u>

# リモート参加福祉系高校生徒 アンケート結果

1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない (%)

	1	2	3	4	未回答
成果発表会は勉強になりましたか	81.5	17.8	0.7	0.0	0.0
興味を持って発表を聞くことができ、福祉の勉強をさらに頑張ろうと思った。	73.3	24.0	2.1	0.0	0.7
今回の発表を聞くことによって、課題に対して解決方法を自分で考え、行動する力が高まった。	50.7	41.8	6.8	0.0	0.7



# 福祉系高校生徒 アンケート結果

1 思う 2 どちらかと言えば思う 3 どちらかと言えば思わない 4 思わない (%)

	1	2	3	4	未回答
新たな知識・技術を習得することができ、自分の <b>スキルアップ</b> につながった	60.3	37.0	2.7	0.0	0.0
今回の発表を聞くことによって、自分の <b>将来の職業に対する意識</b> が高まった	55.5	35.6	6.8	2.1	0.0
今回の発表について <b>満足</b> している。	74.0	22.6	3.4	0.0	0.0

## リモートによる参加者の感想

自分と同じ学年で福祉について学んでいる方達が、**地域を支えるリーダー**になるために講座や様々な体験を3年間でしてきて、すごく**かっこいい**と思ったし、自分達にはない学び方で勉強になりました。**将来の福祉を支えていく人材**としてよい**刺激**となりました。私も卒業後、介護福祉士として頑張ろうと思います。

## リモートによる参加者の感想

今回の発表会で自分の福祉への**視野**がとても**広が**りました。南高校独自の学びがあり、とても**興味深**かったです。今回学べたことを、これから活かせるようにします。とても素晴らしい発表会をありがとうございました。「**感謝・感動・かっこいい**」3Kを感じた発表会でした。



# 6

# 研究成果の普及

## 5 シートとグローブによる水平移動



手順	ポイント
<p><b>スライディングシートを使った介護者側への移動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 下肢を移動する方に移動する</li> <li>2 体重のかかっている肩と骨盤のシートを持ってしゃがみながら手前に寄せる</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 膝下に手を入れ、踵を支えて移動させる。</li> <li>● シートの上だけ持って、手前に寄せる。</li> <li>● 重心を下げ体重移動する。</li> <li>● 肘を曲げない。</li> </ul>
<p><b>スライディングシートを使った対側への移動</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 下肢を移動する方に移動する</li> <li>2 肩・骨盤に手を添える</li> <li>3 前方に体重移動させながら、移動する</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 膝下に手を入れ、踵を支えて移動させる。</li> <li>● 手で押さず、体を使って対側へ移動させる。</li> </ul>
<p><b>グローブを使用</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 胸部と頭部の間に手を差し込み、引き寄せる</li> <li>2 臀部の下に手を差し込み、引き寄せる</li> <li>3 下肢を擦らないように引き寄せ、姿勢を整える</li> <li>4 圧抜きを行う</li> </ol>	<p>*利用者の体型によってはシートを使用する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 差し込むときは、片手を添えて利用者の体を支える。</li> <li>● 体重移動で引き寄せる。</li> <li>● 両腕は開かず、指先は握らない。(両腕の間に隙間を作らない。)</li> <li>● 仙骨部を擦らないようにする。</li> <li>● 体重移動で引き寄せる。</li> <li>● 下肢を持ち上げない。</li> <li>● 滑らすように移動させ、最後は必ず姿勢を整える。</li> <li>● 肩から腰部へ斜めに手を差し込み、抜く。臀部に手を差し込み半分抜いたら踵の方へ滑らせる。</li> </ul>

## 6 スライディングボードによる移乗



手順	ポイント
<ol style="list-style-type: none"> <li>1 ベッドの高さを確認する ボードの片側を折る ベッドの端に浅く座ってもらう ボードを差し込む</li> <li>2 移乗する側の足先を前に出す</li> <li>3 左手でアームサポートをつかんでもらい、車椅子の方向へ身体を傾けて車椅子へ移動</li> <li>4 車椅子の後方へ身体を動かす</li> <li>5 ボードを抜く</li> </ol>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 車椅子と高さをそろえる。</li> <li>● 利用者の手をベッドにつけてもらい、身体を傾け浮いた臀部の隙間にボードを差し込む。</li> <li>● 介護者は、片方の手を脇の下に入れ背中を支える。</li> <li>● 移動する方の足を前に出すことで体重移動が楽に行える。</li> <li>● 座面の半分までボードがくるように車椅子を近づける。</li> <li>● 車椅子側に身体を傾けて、ボードに体重を乗せて滑らせる。</li> <li>● 介護者は、右足を進行方向へ向け、キャスターの外に置き、体をねじらないように滑らせる。</li> <li>● 車椅子側の手を脇の下に入れ背中を支え、反対側の手で骨盤を支える。</li> <li>● 利用者の身体をボード側に斜め前に傾け体重を乗せる。体重がボードに乗っている骨盤を後方へ滑らせ深く座る。</li> <li>● ボードを上向きに抜き取る。</li> <li>● 真横に引くと摩擦がかかる。</li> </ul>

★ このパンフレットを通してノーリフティングケアの素晴らしさが伝われば嬉しく思います。ケアを行うことで、利用者・介護者双方の笑顔がさらに増えることを願っています。

● 監修：一般社団法人 ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元佳子氏  
● 発行：令和2年11月 発行者：大分県立大分南高等学校 福祉科

大分県立大分南高等学校 福祉科  
スーパー・プロフェッショナル・ハイスクール(BPH)

# ノーリフティングケア マニュアル

私たちは授業でノーリフティングケアを学び、介護者にも利用者にも優しい介護であることに感動しました。このような、みんなにとって優しい介護をもっと多くの人に知ってほしいと思い、このパンフレットを作成しました。

## 1 ノーリフティングケアとは

介護する側・される側双方において安全で安心な、抱え上げない・持ち上げない・引きずらないケアをノーリフティングケアと呼んでいます。安全で安心な介護を提供するには、ボディメカニクスを利用し、利用者さんの状態に合わせて福祉用具を有効に活用することが必要です。ノーリフティングケアの効果は職員の仕事が楽しくなくなり、利用者さんの健康な生活につながります。平成25年には介護予防指針が「人力での抱え上げは、原則行わない。リフトなど福祉機器の活用を促す」と改定されました。

## 2 福祉用具

**スライディングシート**

寝たままでも上方・下方・水平に移動したり体位変換もできます。

**スライディングボード**

立てない人がベッドから車椅子へ移乗するなどに使います。

**グローブ**

肩抜き・圧抜き・体位変換ができます。

**リフト**

車椅子への移乗や入浴する時などに使います。

**介護ロボット**

トイレや脱衣所での立位変換に役立ちます。

シート全面で身体を支えてベッドから車椅子への移乗ができます。

# ノーリフティングケアパンフレット制作



# 6

# 研究成果の普及


**1 首・足首・手首をゆっくり回します。** ④足をそろえて立ち、かかとの上げ下げをします。

**2 肩を回します** | 肩を動かせる範囲が広がります。  
⑥足を少し開いて立ち、肩をゆっくり大きく回します。

**3 足踏みをします** | 足の筋肉を鍛えることで、歩行が楽になります。  
⑥左右交互に足を高く上げ、腕を大きく振り足踏みをします。

**4 身体を伸ばします**  
| 身体を伸ばすことで、猫背の防止につながります。  
⑦身体を伸ばすためにタオルの両端を持って左右へ傾けます。

**5 おしりに筋力をつけます**  
| 膝に力を入れることで、おしりに力が入りおしりの筋力維持・向上につながります。  
⑧膝にタオルを挟み、10秒間で力を入れたり抜いたりします。


動画はこちらから 

**2 身体全体を使った体操**

**1 肩、ひじを動かします** | 肩やうでの動きを良くします。  
①うでを肩の高さまで上げます。  
②反対の手で、手首・ひじ・肩の順番で軽くたたきます。左右両方行います。

**2 両うでを伸ばします** | 身体全体を伸ばします。  
①両手を合わせて、うでを伸ばしながら円を描きます。  
②ゆっくり円を描きながら、片足を前に出します。左右交互に行います。

**3 手足を一緒に動かします** | 転びにくくなり、歩くのが楽になります。  
①足を前に出し、元に戻すときに手をたたきます。  
②次に足を横に出し、元に戻すときに手をたたきます。これを左右交互に、リズムカルに行います。

動画はこちらから 

**3 身体と同時に頭を使った体操**

**1 うでを回しながら、足を上げます**  
足を鍛え、身体のバランスが良くなります。  
①なわとびのようにうでを前に回し、足を左右交互に上げます。  
②次はうでを後ろに回し、足を左右交互に上げます。

**2 手と足でグー・チョキ・パー**  
手足を一緒に動かし、脳の活性化をはかります。  
①手と足でグー（両足をとじる）・チョキ（両足を前後に開く）・パー（両足を左右に開く）をします。  
②慣れたらスピードをあげます。  
※相手がいるときは、ジャンケンするのも良いです。

**3 ステップしながらうでを動かします**  
リズムカルなステップでバランスを良くします。  
①サイドステップ（右足右へ→右足戻す→左足左へ→左足戻す）をしながら、片手を出し、その上下にもう片方の腕を伸ばします。  
②リズムよく、ステップしながら左右交互に繰り返します。

**4 指示があった方向に身体をむけます**  
頭と身体を使うことで脳の活性化をはかります。  
①タオルを持って、うでを前に伸ばします。  
②言われた方向に、伸ばしたうでを向けます。（例）「左」と言ったら、左にうでを伸ばす。  
③次は言われた方向と反対方向に、伸ばしたうでを向けます。（例）「右」と言ったら、左にうでを伸ばす。

動画はこちらから 

認知症予防体操パンフレットを制作

⑥

## 研究成果の普及



やさしい日本語リーフレットを制作



## ⑥ 研究成果の普及

### 県へ「おおいたの福祉力」の提言



大分県副知事、教育長等に報告

# ジェネラリストの視点を持つ社会福祉リーダーとして

①古い3Kから**新しい3K**

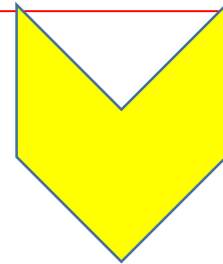
**感謝**・**感動**・**かっこいい**へ



ジェネラリストの視点を持つ社会福祉リーダーとして



## ②SPHの学びの成果



福祉のイメージアップ

専門力

スキルアップ

# ジェネラリストの視点を持つ社会福祉リーダーとして

## ③地域や福祉施設との結びつきを強くするために

連携

・お互いがつながる

連帯

・お互いが助け合う

誰もが暮らしやすい地域づくりに貢献

# 成果と今後の課題

## (2) 今後の課題



# 今後の課題

- **S P H 研究事業を生かした教育課程（指導計画）の検討**
- **海外研修の継続**
- **関係機関（実習施設、大学、行政、小・中学校、地域）との連携・連帯**

# ジェネラル・ケア・ティーチャーとして 福祉の魅力発信



ジェネラリストの視点をもつ  
社会福祉リーダーを目指して